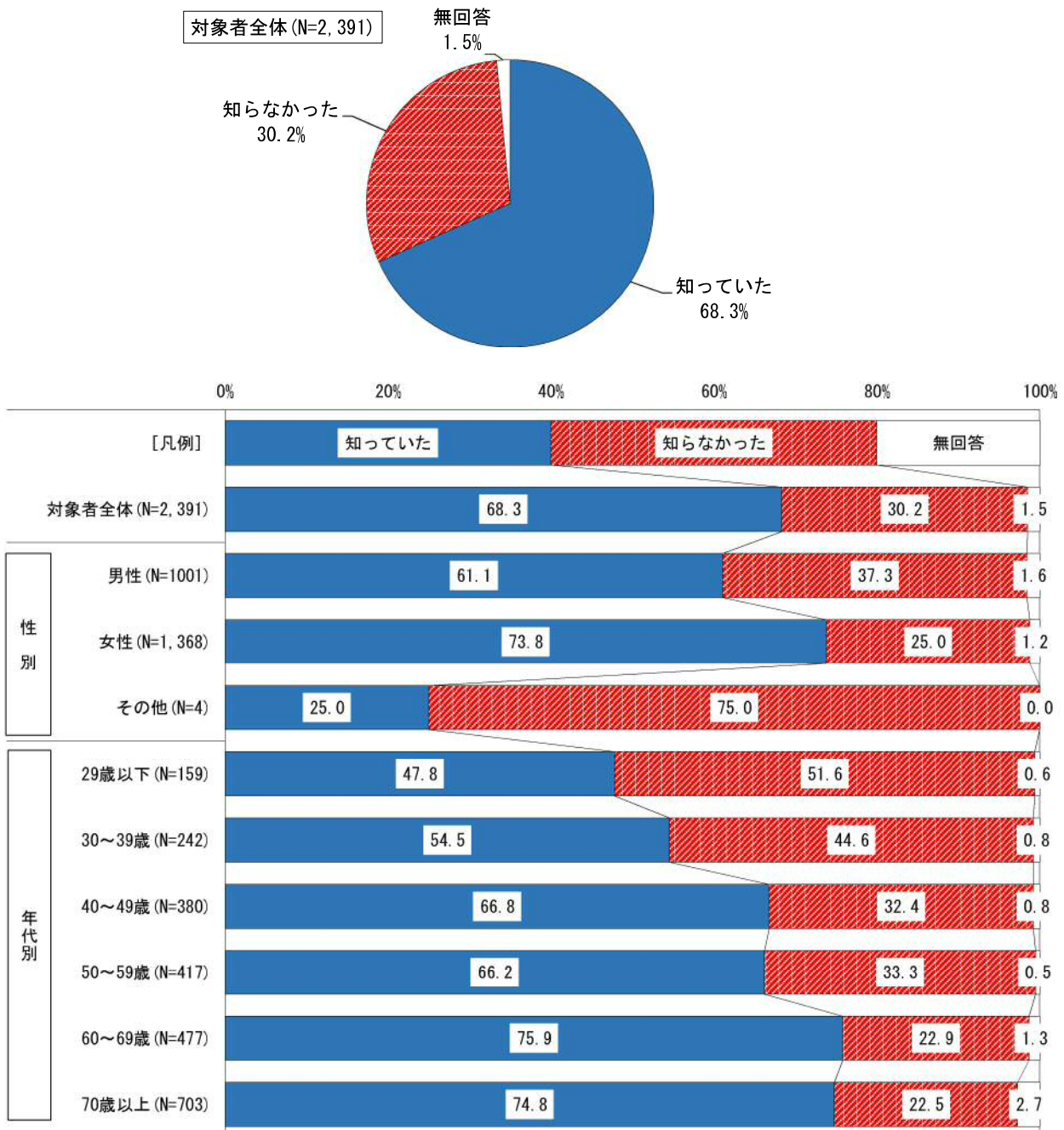


(4) 災害への備えや災害情報の入手方法について

◇災害に備えて求められている備蓄量の認知度

問9 あなたは、災害に備えて最低3日間自宅で生活できるだけの備蓄が求められていることを知っていましたか。

災害に備えて最低3日間自宅で生活できるだけの備蓄が求められていることを「知っていた」人は68.3%



【全体】災害に備えて最低3日間自宅で生活できるだけの備蓄が求められていることの認知度は、「知っていた」が68.3%、「知らなかった」が30.2%となっている。

【性別】「知っていた」は女性が73.8%と、男性の61.1%より12.7ポイント以上高くなっている。

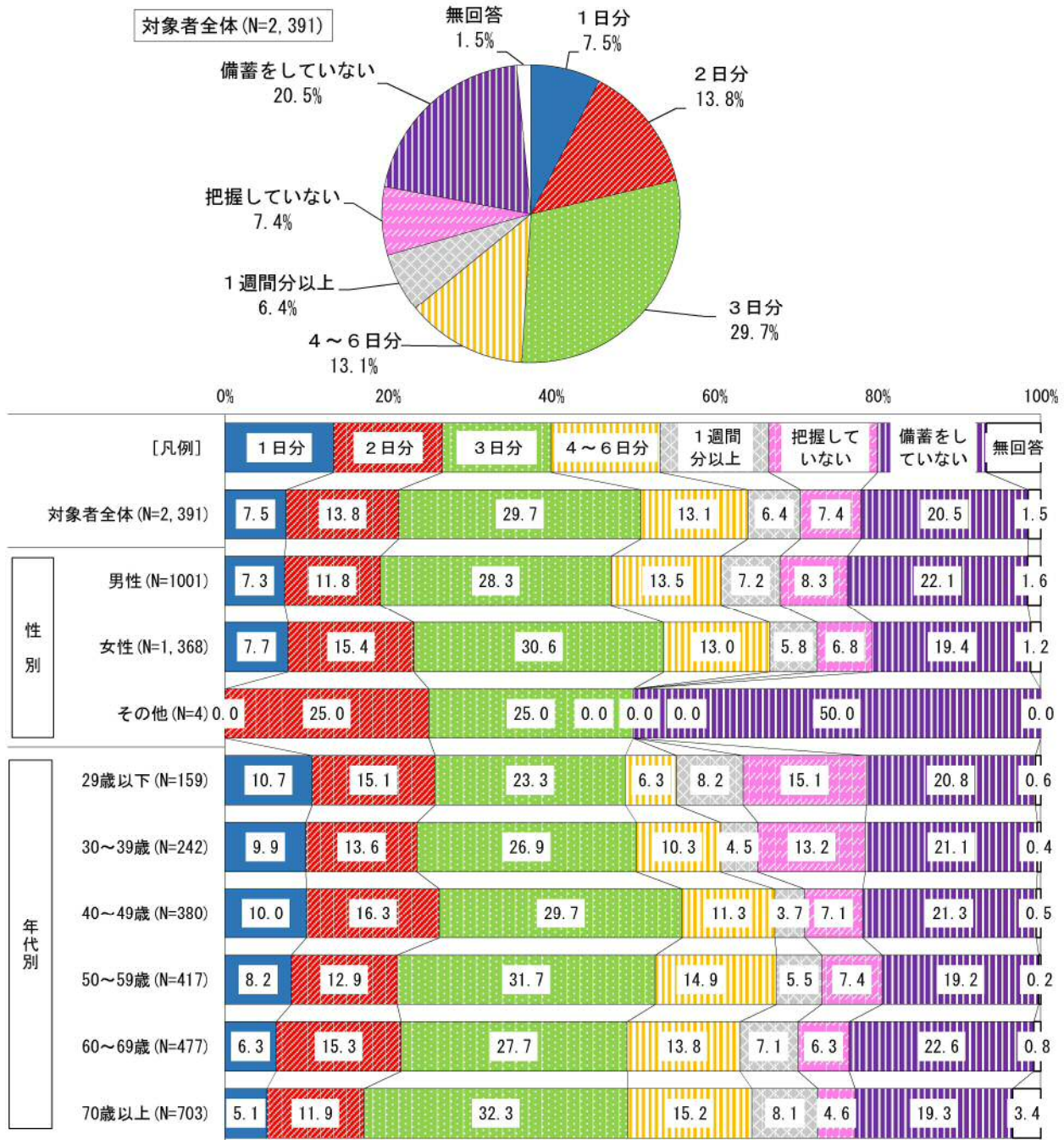
【年代別】「知っていた」が60歳代(75.9%)で最も高く、次いで70歳以上(74.8%)、40歳代(66.8%)となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品の量

問10 あなたは、災害に備えてどの程度の期間自宅で生活できるだけの食料や水、携帯トイレ等の備蓄品を用意していますか。

災害に備えて用意している備蓄品の量は「3日分以上」と答えた人が49.2%

※「3日分以上」(「3日分」+「4～6日分」+「1週間分以上」)



【全体】 災害に備えて用意している備蓄品の量は、「3日分」が29.7%、「4～6日分」が13.1%、「1週間分以上」が6.4%、合わせると49.2%となっている。また、「1日分」が7.5%、「2日分」が13.8%、「備蓄をしていない」が20.5%となっている。

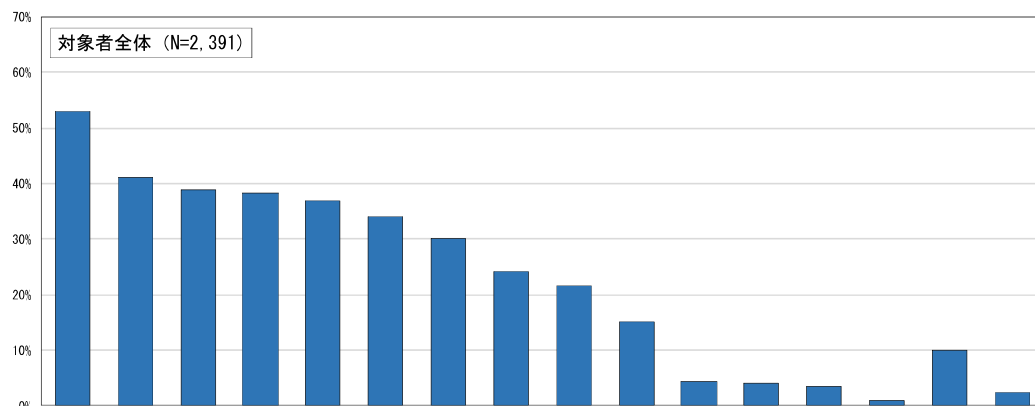
【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 “3日分以上”が70歳以上(55.6%)で最も高く、次いで50歳代(52.1%)、60歳代(48.6%)となっている。

◇地震や風水害などの災害に備えて行っている対策

問 1 1 あなたの家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにもいくつか○をつけてください。

地震や風水害などの災害に備えて行っている対策は「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」と回答した人が 53.1%



対象者数		(%)	食料品や飲料水などの多めの買い置き	避難方法や最寄りの避難場所の確認	ハザードマップの確認	備蓄品や非常持ち出し品の用意	家具の固定や配置の工夫	地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入	（こまめな給油）	自家用車へ早めの満タン給油	テレビや書籍、インターネットなどで災害時の心得や知識の習得	共有	家族間での連絡方法や集合場所などの共有	所有している電子端末に防災関係アプリのインストール	参加	地域での防災訓練や防災イベントへの参加	親戚や知人宅への避難の相談	家屋や塀などの補強	その他	特に何もしていない	無回答
対象者全体		2,391	53.1	41.1	38.9	38.4	36.9	34.0	30.0	24.0	21.7	15.0	15.0	4.3	4.1	4.1	3.5	3.5	0.9	10.1	2.3
性別	男性	1,001	47.0	37.2	36.8	33.9	33.2	31.7	32.2	24.1	19.3	14.0	14.0	4.5	3.5	3.5	3.9	3.9	0.7	12.6	1.9
	女性	1,368	57.9	44.1	40.7	41.7	39.8	36.0	28.8	24.0	23.7	15.9	23.7	4.2	4.6	4.6	3.2	3.2	1.0	8.1	2.2
	その他	4	25.0	50.0	50.0	-	25.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
年代別	29歳以下	159	44.7	33.3	24.5	33.3	26.4	16.4	12.6	28.3	17.0	10.1	10.1	2.5	3.8	3.8	3.8	3.8	1.3	15.1	2.5
	30～39歳	242	53.3	36.0	33.1	43.0	31.4	31.4	22.7	24.0	14.0	12.8	12.8	1.2	6.2	2.1	2.1	2.1	0.8	16.1	1.2
	40～49歳	380	55.8	34.2	37.6	38.9	33.7	31.6	29.5	28.2	21.8	13.9	13.9	2.9	5.0	2.4	2.4	2.4	1.1	11.1	1.1
	50～59歳	417	57.3	36.9	38.8	40.5	38.8	34.5	39.1	23.3	21.6	22.3	22.3	1.4	4.1	1.4	1.4	1.4	1.0	8.9	1.0
	60～69歳	477	54.7	45.1	42.3	37.7	40.7	39.2	36.7	23.3	23.9	20.8	20.8	4.2	3.1	5.0	0.6	0.6	6.7	1.5	
	70歳以上	703	50.4	48.5	43.0	36.7	39.4	36.8	27.3	21.9	24.2	9.5	9.5	8.4	3.7	4.7	0.9	0.9	9.2	4.1	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】地震や風水害などの災害に備えて行っている対策は、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」が53.1%、「避難方法や最寄りの避難場所の確認」が41.1%、「ハザードマップの確認」が38.9%となっている。

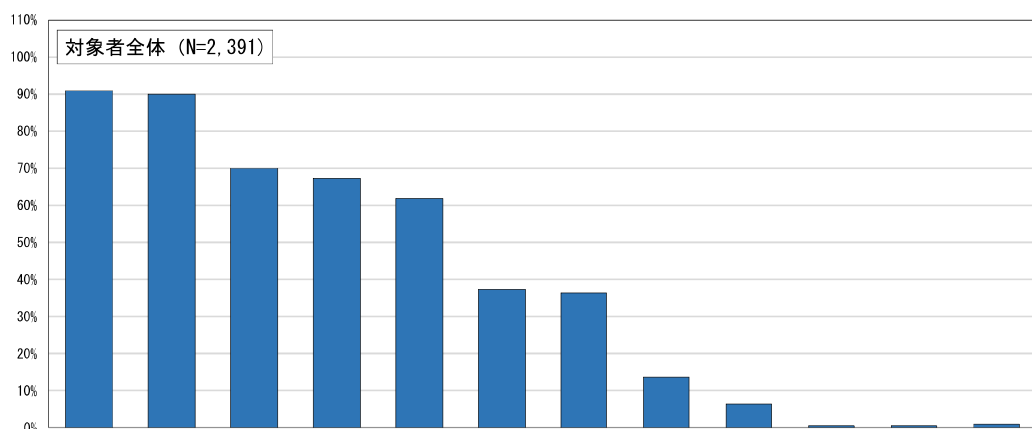
【性別】「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」、「避難方法や最寄りの避難場所の確認」、「備蓄品や非常持ち出し品の用意」、「家具の固定や配置の工夫」は、女性が男性より6.6ポイント以上高くなっている。

【年代別】「ハザードマップの確認」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇自身の世帯で保有している機器

問 1 2 あなたの世帯で、保有している機器は何ですか。次のうちから、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

自身の世帯で保有している機器は「テレビ」と回答した人が90.8%



		対象者数	テレビ	携帯電話 (スマートフォン)	ラジオ	固定電話	パソコン	FAX (ファックス)	タブレット型端末 (iPad、Galaxy Tabなど)	携帯電話 (ガラケー)	ウェアラブル端末 (スマートウォッチ・メガネ型端末など)	その他	保有していない	無回答
		(%)												
対象者全体		2,391	90.8	89.7	69.8	67.3	61.9	37.1	36.4	13.7	6.3	0.2	0.1	0.9
性別	男性	1,001	89.1	88.3	70.3	66.5	65.1	37.1	37.5	15.1	6.4	0.1	-	0.9
	女性	1,368	92.6	91.1	69.8	68.1	59.9	37.3	36.0	12.8	6.3	0.2	-	0.6
	その他	4	50.0	100.0	50.0	50.0	75.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-
年代別	29歳以下	159	83.6	98.1	39.6	42.1	73.0	23.9	41.5	4.4	10.1	-	-	0.6
	30~39歳	242	84.7	98.8	46.7	24.8	74.8	10.3	48.8	3.3	9.9	-	-	0.4
	40~49歳	380	89.7	97.6	57.9	51.1	72.1	25.3	48.7	7.1	11.1	-	-	0.5
	50~59歳	417	92.8	94.7	75.1	73.4	71.2	41.0	43.4	12.2	9.6	0.5	-	0.2
	60~69歳	477	94.1	92.9	81.8	80.1	64.4	48.4	36.1	11.9	3.8	0.4	-	0.8
	70歳以上	703	92.2	75.8	80.2	84.6	42.7	46.1	20.9	25.2	1.6	-	-	1.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】自身の世帯で保有している機器は、「テレビ」が90.8%、「携帯電話 (スマートフォン)」が89.7%、「ラジオ」が69.8%となっている。

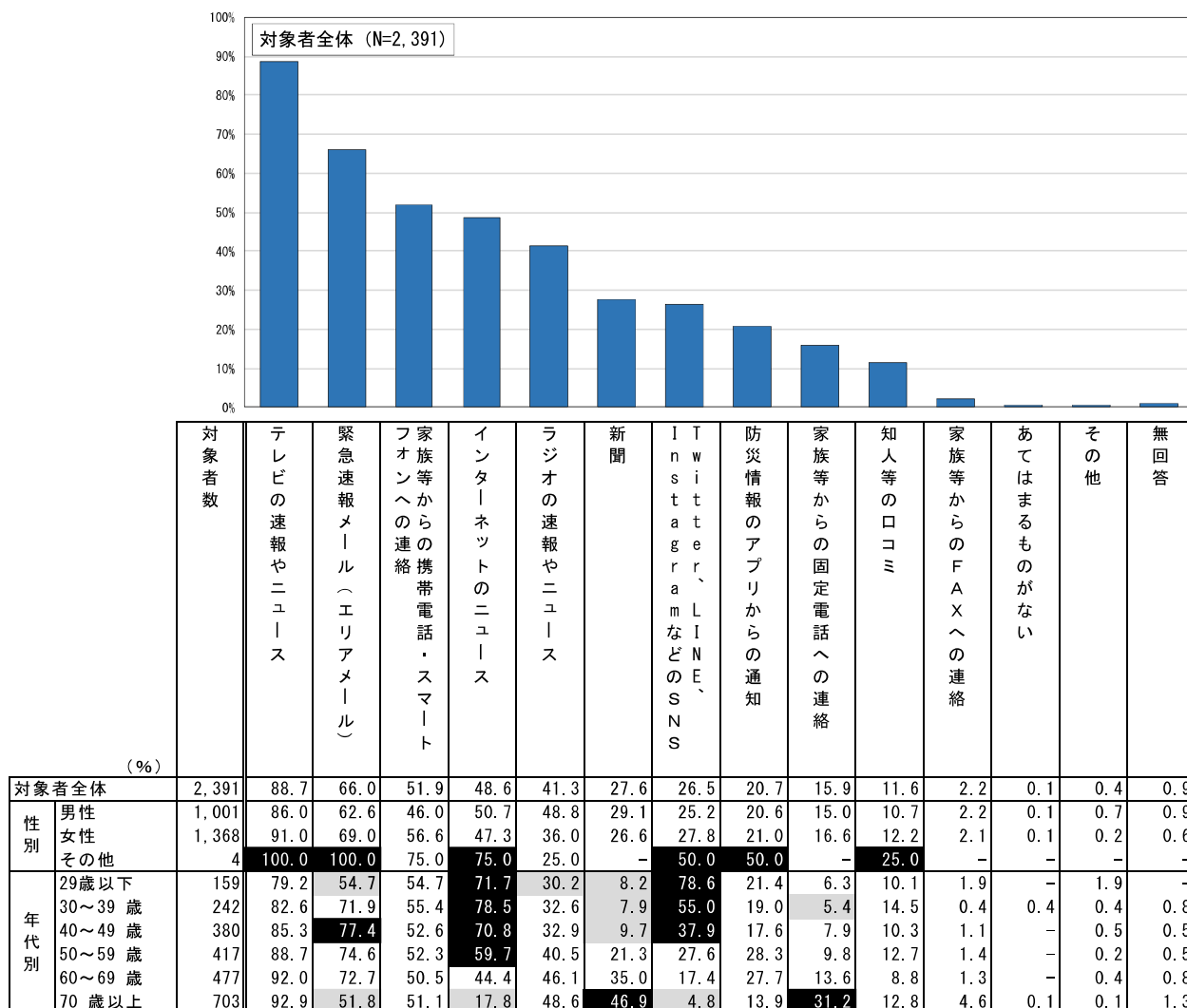
【性別】「パソコン」は男性が65.1%と、女性の59.9%より5.2ポイント高くなっている。

【年代別】59歳以下では「携帯電話 (スマートフォン)」が、60歳以上では「テレビ」が最も高くなっている。

◇災害情報の入手方法

問13 あなたは、地震や風水害などの災害が発生又は発生のおそれがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

地震や風水害などの災害情報の入手方法は「テレビの速報やニュース」と回答した人が88.7%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】災害情報の入手方法は、「テレビの速報やニュース」が88.7%、「緊急速報メール（エリアメール）」が66.0%、「家族等からの携帯電話・スマートフォンへの連絡」が51.9%となっている。

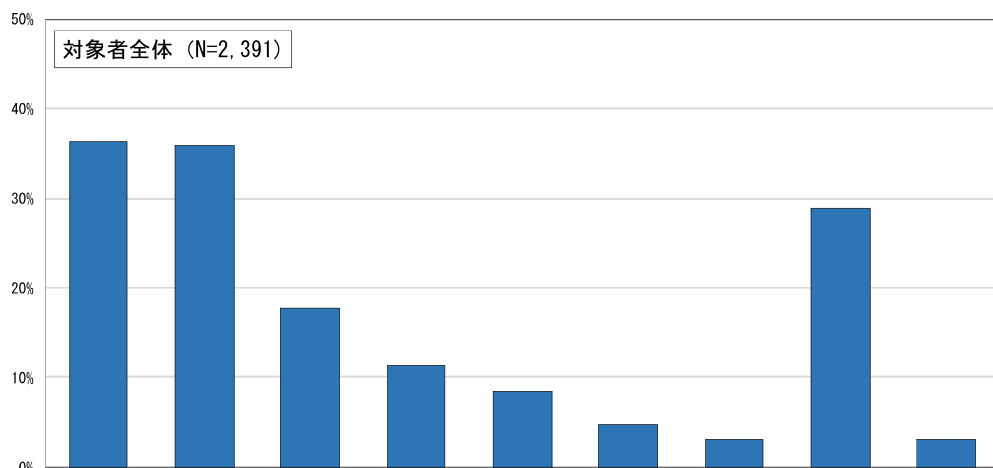
【性別】「ラジオの速報やニュース」は男性が48.8%と、女性の36.0%より12.8ポイント高くなっている。また、「テレビの速報やニュース」、「緊急速報メール（エリアメール）」、「家族等からの携帯電話・スマートフォンへの連絡」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「テレビの速報やニュース」、「ラジオの速報やニュース」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているもの

問 1 4 あなたが、札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているものをいくつでも○をつけてください。

札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているものは、「札幌テレビ放送（STV）にて発信するデータ放送（札幌市からのお知らせ）」と回答した人が 36.3%



対象者数		(札幌市からのお知らせ)	札幌市公式ホームページ	札幌市防災アプリ（そなえ）	札幌市公式LINE	札幌市公式Twitter	さっぽろ防災ポータル	札幌市避難情報等電話サービス	知っているものはない	無回答	
対象者全体		2,391	36.3	35.9	17.7	11.4	8.5	4.8	3.0	28.8	3.1
性別	男性	1,001	35.3	37.7	17.5	8.5	8.3	6.5	2.0	31.3	3.2
	女性	1,368	37.1	34.9	18.1	13.7	8.7	3.6	3.6	27.1	2.8
	その他	4	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-
年代別	29歳以下	159	34.6	31.4	9.4	9.4	22.0	3.1	1.3	34.6	1.9
	30～39歳	242	25.6	31.4	9.5	9.9	19.0	5.4	1.7	35.1	2.1
	40～49歳	380	26.8	46.3	12.9	15.3	12.1	6.3	1.6	31.6	1.6
	50～59歳	417	29.0	45.6	15.8	16.8	11.5	5.0	0.5	28.3	1.2
	60～69歳	477	37.9	40.7	22.2	12.8	3.6	5.2	2.1	27.9	1.9
	70歳以上	703	48.8	24.3	23.0	6.3	1.6	3.7	6.5	24.8	6.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているものは、「札幌テレビ放送（STV）にて発信するデータ放送（札幌市からのお知らせ）」が 36.3%、「札幌市公式ホームページ」が 35.9%、「札幌市防災アプリ（そなえ）」が 17.7%となっている。

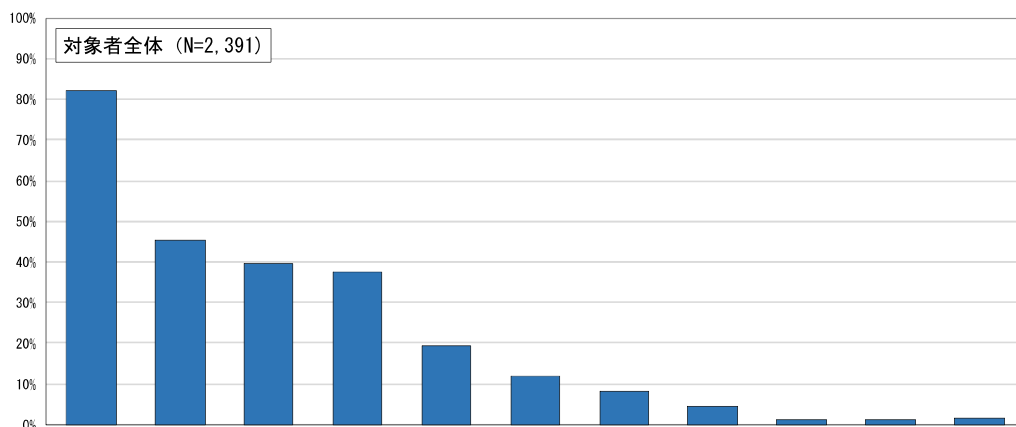
【性別】「札幌市公式LINE」は女性が 13.7%と、男性の 8.5%より 5.2ポイント高くなっている。

【年代別】「札幌テレビ放送（STV）にて発信するデータ放送（札幌市からのお知らせ）」が 70歳以上（48.8%）で最も高く、最も低い 30歳代（25.6%）と比べると 23.2ポイントの差となっている。

◇避難所開設情報の入手方法

問 1 5 あなたは、災害により自宅等から避難しなければならなくなった場合、どのような手段で避難所開設情報を入手しますか。あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

避難所開設情報の入手方法は「テレビの報道・ニュース」が 82.1%



対象者数		テレビの報道・ニュース	ラジオの報道・ニュース	札幌市公式ホームページ	家族・知人等からの連絡や口コミ	札幌市公式 Twitter、LINE などの SNS	札幌市防災アプリ (そなえ)	札幌市 (区役所やコールセンター) に電話	さっぽろ防災ポータル	その他	あてはまるものがない	無回答	
(%)													
対象者全体	2,391	82.1	45.2	39.4	37.5	19.2	11.9	8.2	4.3	1.3	1.1	1.4	
性別	男性	80.4	50.0	39.7	31.1	15.2	12.4	10.4	5.4	1.0	1.4	1.1	
	女性	83.8	42.0	39.5	42.3	22.4	11.6	6.7	3.7	1.6	0.9	1.1	
	その他	4	50.0	25.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	
年代別	29歳以下	159	69.8	27.7	42.1	39.0	42.8	4.4	2.5	1.9	1.9	0.6	0.6
	30~39歳	242	74.8	34.7	50.0	38.0	36.8	9.5	3.7	4.5	0.8	2.1	-
	40~49歳	380	77.6	36.8	54.7	32.6	29.5	8.9	5.5	5.5	1.3	1.3	0.8
	50~59歳	417	82.3	46.8	54.2	36.7	20.4	12.0	7.7	3.8	2.2	1.7	0.7
	60~69歳	477	85.3	52.2	36.9	35.8	14.5	15.5	7.8	5.5	0.2	0.6	1.3
	70歳以上	703	87.8	51.6	20.2	41.4	5.1	13.4	13.2	3.8	1.7	0.7	2.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】避難所開設情報の入手方法は、「テレビの報道・ニュース」が 82.1%、「ラジオの報道・ニュース」が 45.2%、「札幌市公式ホームページ」が 39.4%となっている。

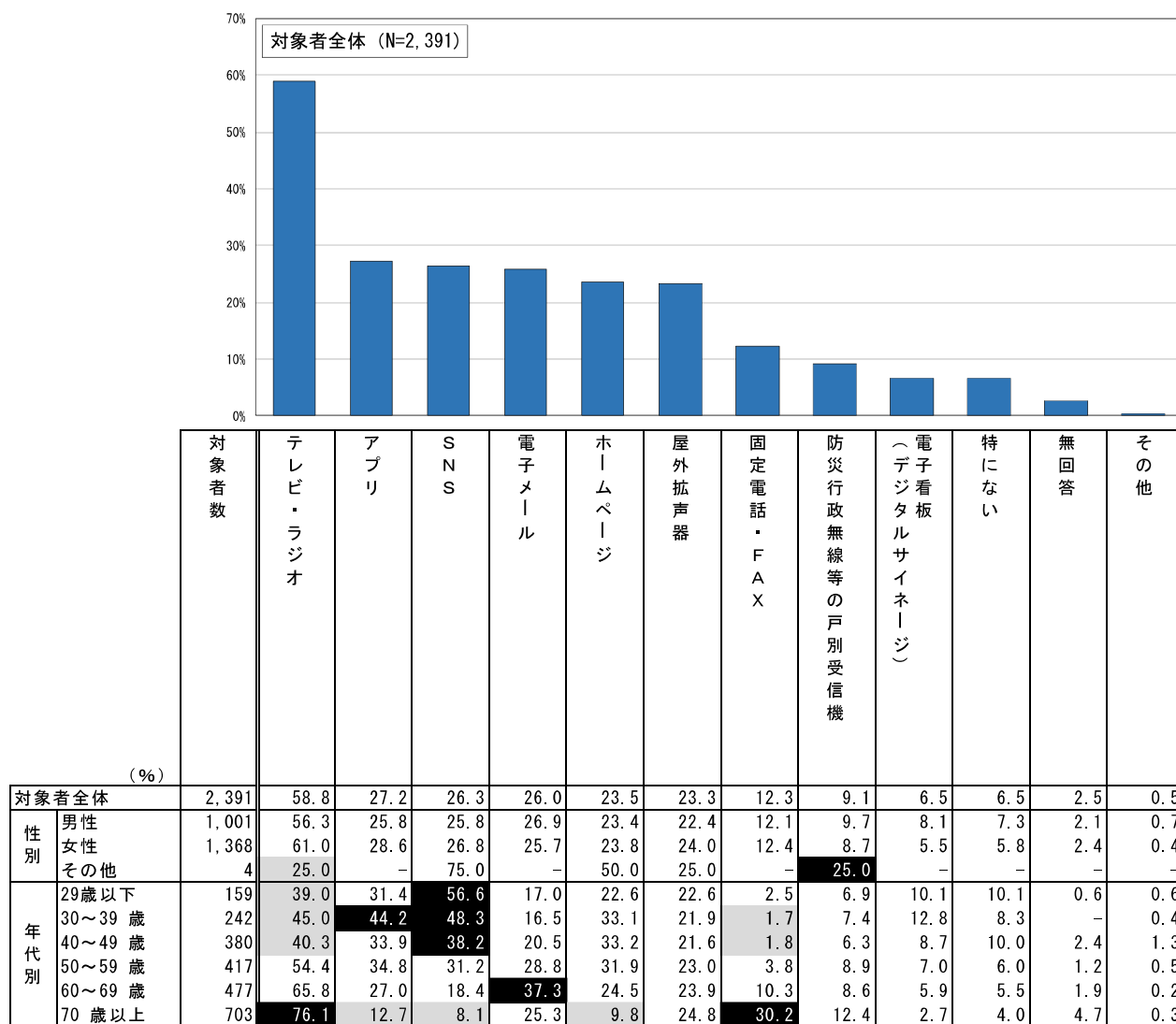
【性別】「ラジオの報道・ニュース」は男性が 50.0%と、女性の 42.0%より 8.0 ポイント高くなっている。また、「家族・知人等からの連絡や、口コミ」、「札幌市公式 Twitter、LINE などの SNS」は、女性が男性より 7.2 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「テレビの報道・ニュース」、「札幌市 (区役所やコールセンター) に電話」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「札幌市公式 Twitter、LINE などの SNS」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化した方がいいと思うもの

問16 あなたが、札幌市からの災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化した方がいいと思うものについて、あてはまるものにくつでも○をつけてください。

災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化した方がいいと思うものは、「テレビ・ラジオ」が58.8%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化した方がいいと思うものは、「テレビ・ラジオ」が58.8%、「アプリ」が27.2%、「SNS」が26.3%となっている。

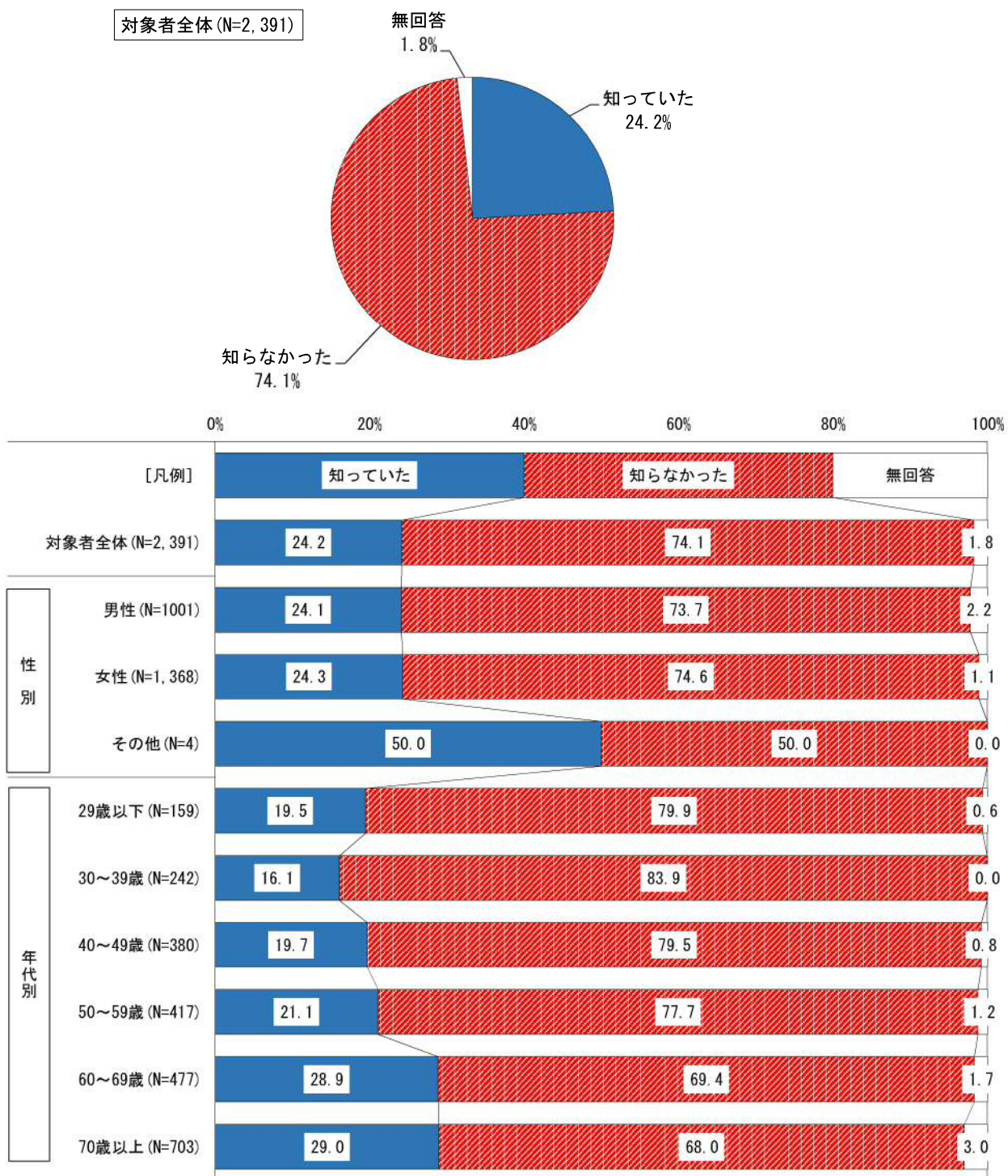
【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 39歳以下では「SNS」が、40歳以上では「テレビ・ラジオ」が最も高くなっている。

◇『一斉帰宅の抑制』の認知度

問 1 7 あなたは、発災直後の原則である『一斉帰宅の抑制』について知っていましたか。

『一斉帰宅の抑制』について「知っていた」人が 24.2%



【全 体】『一斉帰宅の抑制』の認知度は、「知っていた」が 24.2%、「知らなかった」が 74.1%となっている。

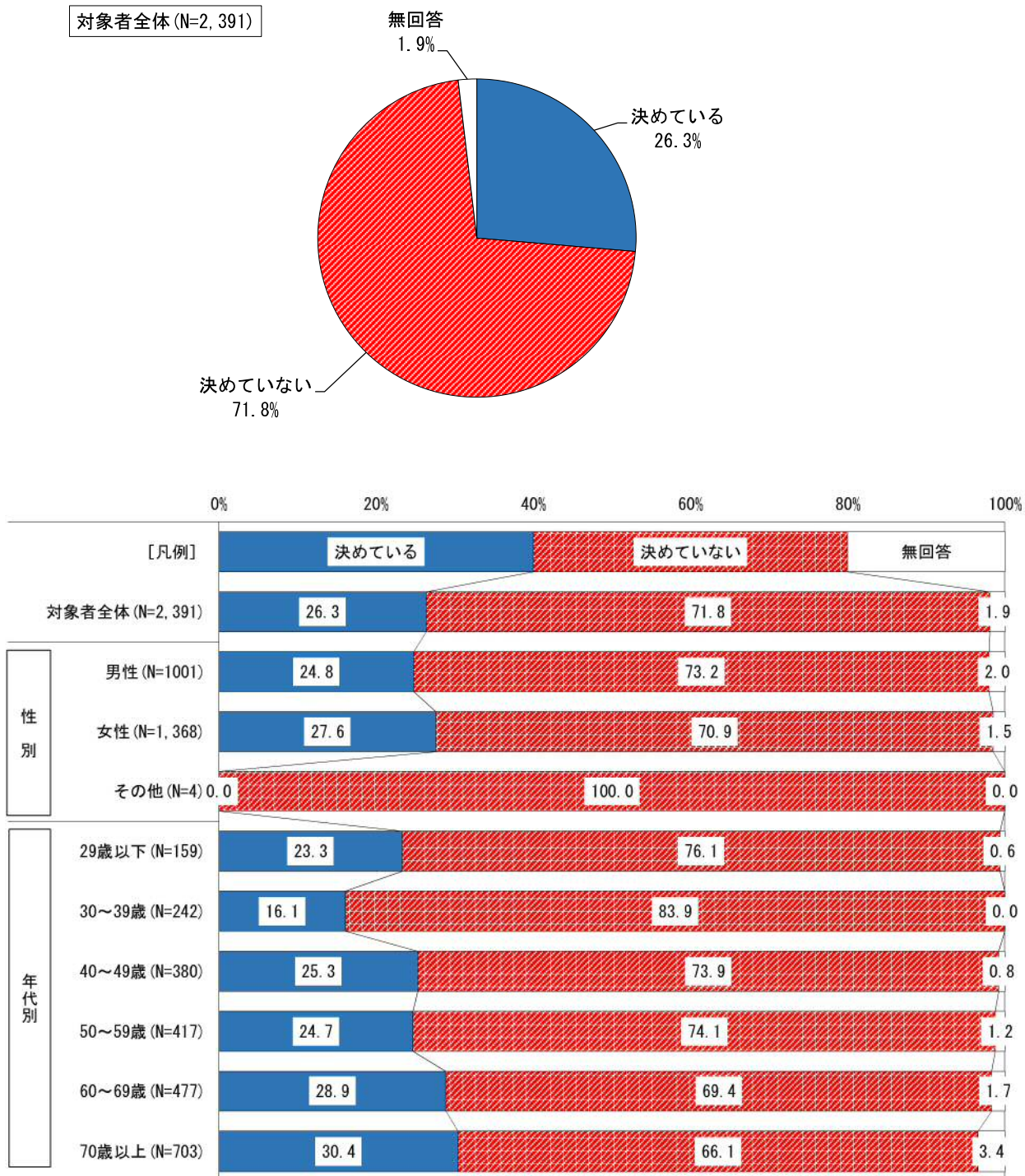
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「知っていた」が 70 歳以上 (29.0%) で最も高く、次いで 60 歳代 (28.9%)、50 歳代 (21.1%) となっている。

◇災害時の安否確認方法を決めているか否か

問 1 8 あなたは、家族・友人等と離れているときに災害に遭遇した場合に備えて、お互いの安否確認方法を決めていますか。

家族・友人等と災害時の安否確認方法を「決めている」人が 26.3%



【全 体】 災害時の安否確認方法を決めているか否かは、「決めている」が 26.3%、「決めていない」が 71.8%となっている。

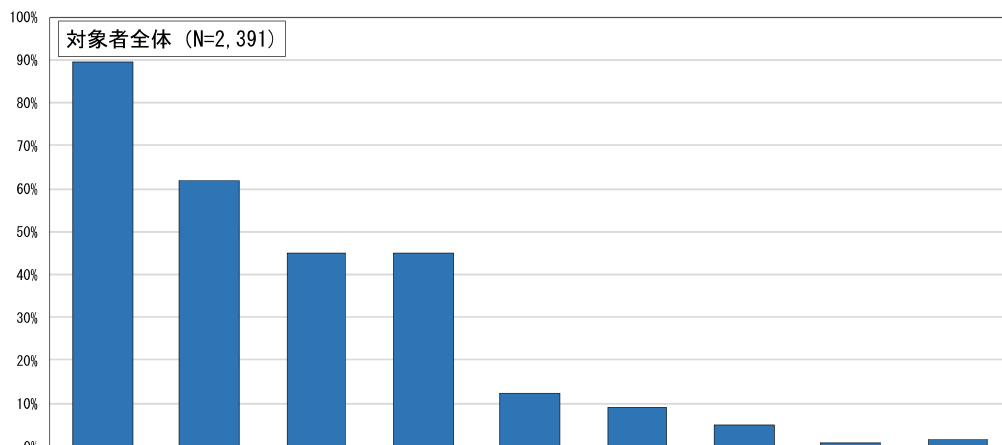
【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「決めている」が 70 歳以上 (30.4%) で最も高く、次いで 60 歳代 (28.9%)、40 歳代 (25.3%) となっている。

◇災害時の安否確認の手段

問19 あなたは、災害時に家族・友人等の安否をどのような手段で確認しますか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

災害時の安否確認の手段は、「携帯電話・スマートフォンへ電話」が89.5%



		対象者数	携帯電話・スマートフォンへ電話	LINEで連絡	メールで連絡	自宅へ電話	災害用伝言ダイヤル(171)	などのSNSで連絡	(災害用伝言版)	その他	無回答
		(%)									
対象者全体		2,391	89.5	61.9	44.9	44.8	12.5	9.1	5.1	0.7	1.5
性別	男性	1,001	90.1	55.2	45.4	48.5	9.5	9.3	4.8	0.9	1.5
	女性	1,368	89.5	67.3	44.9	42.3	14.8	8.9	5.3	0.4	1.0
	その他	4	100.0	100.0	-	50.0	50.0	50.0	25.0	-	-
年代別	29歳以下	159	91.2	87.4	20.1	31.4	6.9	33.3	2.5	0.6	0.6
	30~39歳	242	93.0	85.5	43.4	32.2	12.8	19.0	6.2	0.4	0.4
	40~49歳	380	90.8	75.8	41.1	29.2	15.0	15.3	6.6	1.6	0.5
	50~59歳	417	87.8	72.2	49.2	40.8	14.4	6.7	6.7	0.7	1.0
	60~69歳	477	91.6	63.5	57.4	45.7	16.8	4.2	7.1	0.6	1.5
	70歳以上	703	87.6	34.1	42.7	62.7	8.5	1.7	2.1	0.1	2.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】災害時の安否確認の手段は、「携帯電話・スマートフォンへ電話」が89.5%、「LINEで連絡」が61.9%、「メールで連絡」が44.9%となっている。

【性別】「自宅へ電話」は男性が48.5%と、女性の42.3%より6.2ポイント高くなっている。また、「LINEで連絡」、「災害用伝言ダイヤル(171)」は、女性が男性より5.3ポイント以上高くなっている。

【年代別】「LINEで連絡」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。